

お母さんと赤ちゃんに質の高い安心・安全な医療を提供

高度な専門性と綿密な管理の要求されるハイリスク妊娠や妊産婦救急に24時間対応。妊娠中から育児期まで助産師によるきめ細やかな対応でお母さんを支援。新生児の異常の早期発見・治療と新生児集中治療部を卒業した児の管理。難治性不妊症の治療。



診療体制

産科部門は常勤医13名(産科専任3～4名)、医員・専攻医約10名、助産師24名が24時間体制で診療に従事。生殖医療部門は2名の専属医師、新生児部門はNICU医師が担当。

対象疾患

産科部門：正常妊娠、SLEなど各種内科疾患合併妊娠、妊娠合併症、常位胎盤早期剥離など産科救急疾患、胎児疾患、異所性妊娠、産科感染症など。生殖医療部門：不妊症全般、不育症。新生児部門：低出生体重児、黄疸、新生児一過性多呼吸、感染症など。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

産科部門では年間約300件の分娩を取り扱っており、その半数以上がハイリスク妊娠です。また年間約50件の周産期救急搬送を受け入れています。生殖医療部門では主に難治性不妊症を対象に約100件の体外受精を行っており、良好な成績を得ています。

高度医療の取り組み・研究

①胎児発育不全、妊娠高血圧症候群の発症機序と予防法の解明
重症胎児発育不全症例や重症妊娠高血圧症候群の周産期予後の改善を目指し、その発症機序と子宮内環境の悪化に対する胎児・胎盤の防御機構について研究をすすめています。

②顕微授精や胚盤胞移植を用いた高度補助生殖医療
凍結融解胚移植、顕微授精、胚盤胞移植、Vitrificationなどの手法を用いて、男性因子や難治性不妊症を対象に、移植周期あたりの妊娠率24.2%と良好な成績を得ています。



あらゆる血液浄化療法を行います

末期腎不全患者の血液(濾過)透析、肝不全や自己免疫疾患などに対する血漿交換療法、急性中毒や高脂血症・神経疾患などに対する血液吸着療法など幅広い分野にわたる血液浄化療法を行っています。また内シャントの作成・再建も行っています。

診療体制

腎臓学会・透析学会専門医8人を含む医師9人が診療。血液浄化療法、輸液管理や薬剤投与、食事療法などに関する他科医師の相談に応じています。薬剤師・栄養士などと協力し、患者さん1人1人に病気や治療法についての説明を行っています。

対象疾患

急性腎不全・慢性腎不全に対する血液(濾過)透析と腹膜透析。肝不全、薬物中毒、各種自己免疫疾患に対する血液吸着および血漿交換療法。家族性高コレステロール血症・閉塞性動脈硬化症に対するLDL吸着療法、血液型不適合の移植例に対する抗体除去。関節リウマチ・クローン病に対する白血球除去療法。

診療、研究実績

一般的な診療についての実績

年間の血液透析回数3,539回、血液濾過透析537回、血漿交換66回、血液吸着38回です。内シャント作成回数は71回。年に18回腎臓病教室を開催し、参加者数は110名です。腹膜透析外来にて約20名の患者さんを2週間ごとにフォローしています。

高度医療の取り組み・研究

○モニター機器を用いた安全な透析療法
術前術後の患者・透析困難症の患者さんに対し、クリットライン・マルチチャンネル体脂肪計等の機器を用いて循環血漿量と体液量をモニターしながら血液浄化療法を安全にすすめています。

